

安全データシート

会社情報	会社名	有限会社 カシレキ		
	住所	〒661-0974 兵庫県尼崎市若王寺3丁目18-4		
	電話番号	06-6496-5761	FAX 番号	06-6496-5762
	担当部門	塗料製造部	担当者	柏原 大司
	緊急連絡先	担当部門に同じ	電話番号	担当部門に同じ
	作成者	柏原 大司	(作成) 改定	平成 25 年 1 月 7 日
製品の特定	製品名	アスファルトルーフコーティング		
	製品の説明	種類 : アスファルト系防水材(混合物) 主な用途 : 建築物の部分防水		
GHS 分類	可燃性固体, 区分 1			
	皮膚腐食性/刺激性, 区分 3			
	目に対する重篤な損傷性/目刺激性, 区分 2			
	発がん性, 区分 2			
	生殖毒性, 区分 1 B			
	特定標的臓器/全身毒性 (単回暴露)	区分 1 呼吸器、肝臓、中枢神経系、腎臓 区分 2 中枢神経系		
	特定標的臓器/全身毒性 (反復暴露)	区分 1 呼吸器、神経系		
	吸引性呼吸器有害性, 区分外			
	水生環境-急性有害性, 区分 2			
	水生環境-慢性有害性, 区分 2			
※GHS 分類において、【区分外】【分類対象外】及び【分類できない】という項目については記載していない。				
GHS ラベル要素 絵表示				
注意喚起語	危険			
物質の特定	成分及び含有量 (危険有害物質を対象)			
	成分名	CAS NO.	含有量 (%)	備考
	エチルベンゼン	100-41-4	1.9	PRTR 法 1 種 指定 (53)
	キシレン	1330-20-7	2.1	PRTR 法 1 種 指定 (80)

	ミネラルスピリット	8052-41-3	15-19	安衛法通知対象 (551)
	ブローンアスファルト	64742-93-4	30-40	安衛法通知対象 (168)鉱油として
危険有害性の分類	分類の名称 : 可燃性固体、急性毒性 <u>危険有害性情報</u> 可燃性固体 有機溶剤中毒のおそれ 軽度の皮膚刺激 重篤な目への刺激 発ガンのおそれの疑い 生殖能または胎児への悪影響のおそれ 健康に有害のおそれ 呼吸器、肝臓、中枢神経系、腎臓の障害 長期又は反復ばく露による呼吸器、神経系の障害 水生生物に毒性 長期的影響により水生生物に毒性			

応急処置	目に入った場合	直ちに大量の清浄な水で15分以上洗う。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。まぶたの裏まで完全に洗うこと。出来るだけ早く医師の診断を受けること。
	皮膚に付着した場合	付着物を布で素早く拭き取る。 大量の水及び石鹸又は皮膚用の洗剤を使用して十分に洗い落とす。 溶剤、シンナーなどは使用しないこと。 汚染された衣服を取り除くこと。 外観に変化が見られたり、痛みがある場合には医師の診断を受けること。
	吸入した場合	蒸気、ガス等を大量に吸込んだ場合には、直ちに空気の新鮮な場所に移し、暖かく安静にする。呼吸が不規則、止まっている場合には人工呼吸を行う。嘔吐物は飲み込ませないようにする。 直ちに医師の手当てを受けさせること。 蒸気ガスを吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、医師の診断を受けること。
	飲み込んだ場合	誤って飲み込んだ場合には、安静にして直ちに医師の診断を受けること。 嘔吐物は飲み込ませないようにする。 医師の指示による以外は無理に吐かせないこと。
火災時の措置	使用可能消火剤	水[]、炭酸ガス[○]、泡[○]、粉末[○]、乾燥砂[○]、その他[]
	消火方法	水を消火に用いてはならない。 適切な保護具(耐熱性着衣など)を着用する。 可燃性のものを周囲から素早く取り除く。 指定の消火剤を使用すること。 高温にさらされる密閉容器は水をかけて冷却する。 河川等へ排出され、環境への影響を起ささないように注意する。
漏出時の措置	作業の際には適切な保護具(手袋・保護マスク・エプロン・ゴーグル等)を着用する。 周辺を立ち入り禁止にして、関係者以外を近づけないようにして二次災害をぼうしする。 漏出物は密閉出来る容器に回収し、安全な場所へ移す。 乾燥砂、土、その他の不燃性のものに吸着させて回収する。大量の流出には盛り土	

	<p>などで囲って流出を防止する。 付近の引火源、高温体及び付近の可燃物を素早く取り除く。 着火した場合に備えて、適切な消火器を準備する。 衝撃、静電気にて火花が発生しないような材質の用具を用いて回収する。 付着物、廃棄物などは、関係法規に基づいて処置をすること。 河川等へ排出され、環境への影響を起ささないように注意する。</p>
取扱、保管 上の注意	<p><u>取扱上の注意</u> 換気の良い場所で取り扱う。 容器はその都度密栓する。 周囲で火気、スパーク、高温物の使用を禁止する。 静電気対策の為、装置等は接地し、電気機器類は防爆型(安全増)を使用する。 工具は火花防止型のものを使用する。 作業中は、帯電防止型の作業服、靴を使用する。 使用済みウエス、塗料カス、スプレーダスト等は廃棄まで水に漬けておくこと。 密封された場所における作業には、十分な局所換気装置を付け、適切な保護具を付けて作業すること。 皮膚、粘膜、又は着衣に触れたり目に入らぬよう適切な保護具を着用する。 取扱後は手、顔等を良く洗い、休憩所等に手袋などの汚染した保護具を持ち込まないこと。</p> <p><u>保管上の注意</u> 日光の直射を避ける。 通風の良いところに保管する。 火気、熱源から遠ざけて保管する。</p>

暴露防止 措置	<u>設備対策</u> 取り扱い設備は防爆型を使用する。 排気装置を付けて、蒸気が滞留しないようにする。 液体の輸送、汲み取り、攪拌などの装置についてはアースを取るように設置する。 取り扱い場所の近くには、高温、発火源となるものが置かれられないような設備とすること。 屋内塗装作業の場合は、自動塗装機等を使用する等作業者が直接暴露されない設備とするか局所排気装置等により作業者が暴露から避けられるような設備にすること。 タンク内部などの密閉場所で作業をする場合には、密閉場所、特に底部まで十分に換気出来る装置を取り付けること。	
	保護具	目の保護 取り扱いには保護メガネを着用すること
		手の保護 有機溶剤又は化学薬品が浸透しない手袋を着用する
		呼吸器系の保護 有機ガス用防毒マスクを着用する。 密閉された場所では送気マスクを着用する。
皮膚及び身体の 保護具 取り扱う場合には、皮膚を直接暴露させないような衣類をつけること。また化学薬品が浸透しない材質であることが望ましい。		
製品の物理 ／科学的 性質	状態 液体 <input type="checkbox"/> 気体 <input type="checkbox"/> 固体：固形状 <input type="checkbox"/> 粉末状 <input type="checkbox"/> ペースト状 <input type="checkbox"/>	
	色 : 黒色 臭気 : 溶剤臭あり 沸点 : 156~200℃ (参考値) 蒸気圧 : データなし 密度(比重) : 1.10 (20℃) PH値 : 該当せず その他 : 特になし	
危険性情報	製品特徴 引火点 : 46.0℃ 発火点 : 230℃ (参考値) 爆発限界 : (下限) 1.4% (上限) 7.6% (推定値)	
	反応性 接触により危険性のある物質 : 強酸化剤	

	安定性	発火性（自然発火性）：なし			
		燃焼などによる有害性ガスの発生：CO, NO _x 等の有害ガスを発生する恐れがある			
		その他の反応性情報：通常の取り扱い条件においては安定である。			
	その他の危険性情報：なし				
有害性情報	組成物質の有害性及び暴露濃度基準				
	物質名	管理濃度	ACGIH(TLV)	IARC	急性毒性
	ミネラルスピリット	規定なし	100ppm	3	LD50(経口):15000 mg/kg以上
	キシレン	50ppm	100ppm	—	LD50(経口):4300 mg/kg
	エチルベンゼン	20ppm	100ppm	2B	LD50(経口):3500 mg/kg
	ブロンアスファルト	—	TWA0.5 mg/m ³	3	LD50(経口):5000 mg/kg以上
	組成物質に関するその他の有害性情報				
	急性毒性 吸入	エチルベンゼン(区分4) 気道の炎症、結膜炎			
	皮膚腐食性・ 刺激性	キシレン(区分2),エチルベンゼン(区分3) ミネラルスピリット(区分2)			
	目に対する重 篤な損傷性/ 目刺激性	キシレン(区分2A),エチルベンゼン(区分2B), ブロンアスファルト(区分2B)			
	発がん性	エチルベンゼン(区分2)			
	生殖毒性	キシレン(区分1B),エチルベンゼン(区分1B)			
	特定標的臓器 単回暴露	キシレン(区分1・3),エチルベンゼン(区分2・3) ミネラルスピリット(区分3)			
	特定標的臓器 反復暴露	キシレン(区分1),ミネラルスピリット(区分2) ブロンアスファルト(区分2)			
	水生環境急性 有害性	キシレン(区分2),ミネラルスピリット(区分1)			
	水生環境慢性 有害性	キシレン(区分2),ミネラルスピリット(区分1)			
その他	皮膚に対して弱い刺激性が有る。繰り返しの接触により脱脂症状を生ずる。 誤飲した本品が肺に吸入されると、肺組織の内出血、肺水腫、科学的肺炎を起こすことがある。				
製品に関する有害性情報 製品としての安全性試験は行っていない。					

環境影響 情報	漏洩、廃棄などの際には環境に影響を与える恐れがあるので取扱いに注意すること。 特に、製品や洗浄水が地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること
廃棄上の 注意	漏洩、廃棄などの際には環境に影響を与える恐れがあるので取扱いに注意すること。 廃塗料、容器の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約して処理をする。

	容器、機械装置等を洗浄した排水等は、地面や排水溝へそのまま流さないこと。排水処理、焼却などにより発生した廃棄物についても、廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関係する法規に従って処理を行うか、委託すること。
輸送上の注意	共通 取扱い及び保管上の注意の項の記載に従うこと。 容器漏れの無いことを確かめ、転倒、落下、損傷が無いように積み込み、荷崩れ防止を確実にすること。
	陸上輸送 消防法、労働安全法、毒劇法に該当する場合は、それぞれの該等法規に定められている運送方法に従うこと。
	海上輸送 船舶安全法に定めるところに従うこと。
	航空輸送 航空法に定めるところに従うこと。
	国連番号 2926
主な適用法令	労働安全衛生法 危険物 : 引火性のもの 有機則 : 第3種有機溶剤 通知対象: ミネラルスピリット, 鉱油(アスファルト) PRTR法 第1種指定科学物質 キシレン, エチルベンゼン 消 防 法 指定可燃物 可燃性固体 危険等級Ⅲ 船舶安全法 可燃性物質類
その他	主な引用文献 ・(社) 日本塗料工業会 「原材料物質データベース」 ・溶剤ポケットブック ・(社) 日本塗料工業会 「GHS対応 MSDSラベル作成ガイドブック」
〔 注 意 〕 危険、有害性の評価は必ずしも十分ではありませんので、取扱いには十分ご注意ください。	